

事業概要：山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

申請者	熊本県山江村					初回採択回	令和8年1回募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,549,113千円 (1,339,717千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・特産品「やまえ栗」を核とした加工・販売機能を強化し、地場産業の付加価値向上（稼ぐ力の強化）と新規雇用の創出を図る。 ・買い物・福祉・交流などの生活サービスを拠点に集約・効率化し、将来の人口減少局面においても持続可能な生活環境モデルを構築する。 ・エネルギーの自給自足と域内循環により、拠点運営の公費負担を低減させるとともに、他の福祉サービスへ還元する仕組みを確立し、将来にわたり自立的な地域経営を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 持続可能な地域社会の核となる拠点「栗の駅」を整備し、以下の4機能を構成。 ①直売所やカフェを整備し、地元産品や日用品販売、栗スイーツ等の提供により農家所得の向上と買物支援、来訪者の消費促進を図る。②文化資産の石蔵を活用した公園を整備し、多世代交流の場や災害時の避難機能を提供する。 ③民間による加工場・ショップを整備。原料(栗)出荷を村内加工へ転換し、高付加価値化を推進。④いが剥き機等を備えた集出荷施設を整備。生産者の省力化による生産体制を構築し、安定供給を実現。また、新商品開発やプロモーションにより稼ぐ力の最大化を図る。加えて、域内のエネルギー循環を図る太陽光発電や系統用蓄電池、EVチャージャーを統合配備する。					  	
	【ソフト事業】 ・6次化産業の推進に係る新商品開発（委託料等）1,367千円 ・施設のプロモーション費用（委託料等）6,919千円 【拠点整備事業】 ・拠点施設「栗の駅」（工事、監理委託、設計委託）492,637千円 ・6次化ゾーン民間事業者施設整備（補助金）56,000千円 ・再生可能エネルギー設備整備（工事）779,713千円 ・「栗の駅」施設車両（EV車購入）3,081千円					 	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①付加価値増加額（+190,322千円） ②雇用者数（+10人） ③やまえ栗生産量（+47 t） ④地域活性化事業に対する還元額（+10,601千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.yamae.lg.jp/kiji0031656/index.html 